

## 日本鐵鋼協會記事

## 理事會 (昭和 13 年度第 3 回)

開會日時 昭和 13 年 6 月 6 日 (月) 午後 5 時開會同 8 時閉會

## 出席者

理事 齋藤 大吉 吉川 晴十

監事 西村小次郎

前會長 今泉嘉一郎 俵 國一 河村 曉 服部 漸

水谷 叔彦

常務委員 三島 徳七 鹽澤 正一

## 協議事項

1. 日本鋼管株式会社より寄贈金に関する件
2. 入退會者及び會員異動

## 會員異動總計表

|       | 名譽會員 | 維持會員 | 贊助會員 | 正會員   | 准會員   | 計     |
|-------|------|------|------|-------|-------|-------|
| 新入會者數 |      |      |      | 10    | 19    | 29    |
| 退會者數  |      |      |      |       | - 1   | - 1   |
| 死亡者數  |      |      |      | 1     | 1     | 2     |
| 現在會員數 | 14   | 45   | 18   | 1,089 | 1,327 | 2,493 |
| 前月と比較 | 異動なし | 異動なし | 異動なし | + 9   | + 17  | + 26  |

## 退會者氏名

准會員 白石 竹松

## 報告事項

1. 昭和 13 年度 4 月分收支報告
2. 日本鋼管株式会社より寄贈金受領
  - (イ) 5 月 24 日寄附金申込書受領
  - (ロ) 5 月 25 日渡邊理事寄附金受領
3. 前評議員工學博士横堀治三郎君逝去に際し同氏は本會創立以來の盡力者なるを以て花環を呈供し厚く弔意を表せり。

## 野田文庫委員會 (昭和 13 年度第 1 回)

開會日時 昭和 13 年 5 月 25 日 (水) 午後 4 時 30 分開會同 5 時 40 分閉會

## 出席者

幹事 吉川 晴十 山縣愷介 代理荒川直三 三島 徳七

委員 池田 正二 五百旗頭啓 金子 恭輔 俵 國一

田中 清治 松下 長久 水谷 叔彦 鹽澤 正一

## 協議事項

1. 購入圖書選定の件 選定圖書數次の通り
  - (イ) 和書 24 點
  - (ロ) 洋書 252 點

## 編輯委員會 (昭和 13 年度第 3 回)

日時 昭和 13 年 5 月 25 日 (水) 午後 5 時 40 分開會同 7 時閉會

## 出席者

理事 吉川 晴十

委員 五百旗頭啓 池田 正二 石田 四郎 田中 清治

網谷 俊平 齋藤 彌平 三島 徳七 鹽澤 正一

## 協議事項

1. 鐵と鋼第 24 年第 7 號上掲論文原稿選定

## 決定原稿

- (1) Ni 鋼及 Ni Cr 鋼の加熱變態開始溫度に就て 永澤 清
- (2) 鋼板の加熱絞りの際に發生する表面龜裂に就て 森寺 一雄
- (3) バネ板繰返曲げ試験機並に其の使用成績に就て 大塚 誠之
- (4) 種々の状態に於ける金属材料の磨耗に就て 伊丹榮一郎

2. 鐵と鋼第 24 年第 6 號上掲抄録原稿選定

3. 鐵鋼要覽編纂の件

## 報告事項

1. ビュッセルザルクスより鐵と鋼へ廣告依頼の件  
受諾

## 爐材原料に関する陳情書 (昭和 13 年 5 月 6 日(金)理事會決定)

## 陳情書

## 爐材原料に関する件

近時重工業の發達と共に冶金工業電氣化學工業等の隆盛を來たし各種爐材を必要とすること頗る切なるものあり。從て之が原料の供給關係に於て相當苦心を要するのみならず其品質に於ても例へば製鋼、製銑等の作業の改善と高熱化とは倍々良質の爐材を要求するに至れり。而して爐材中最も需要多き粘土質耐火煉瓦の原料は今後滿洲國及北支に其大部分を仰がざるを得ざる情勢にあり、然るに近時我國輕銀製造工業の勃興は此等耐火粘土を其原料の對照とし、實驗室的には礬土含有 50% 以下のものに對しても製造試験の行はるる状態にあり。從て所謂耐火粘土は礬土低質分のものも凡て之を輕銀原料と見做され現に滿洲國に於ては鑛業法にアルミニウム鑛耐火粘土と稱して採掘統制下に一括せり、此の如き状態にては耐火粘土の供給上圓滑を缺く恐なきにしもあらず。翻て其使用の割合を見るに一方輕銀 1t 當り耐火粘土は礬土含有分 50% のものとして約 4t を要し、假りに年産 10,000t の輕銀に對し耐火粘土 40,000t に當るに過ぎず。

他方滿洲國及び北支方面より輸入する耐火粘土並に其製品の總額は現在 1ヶ年 400,000t にしてやがて 1,000,000t にも達すべし。

然かも此の如き大量を供給し得る産地は滿洲國及び北支を措て他に求め難きを以て今若し耐火粘土の統制策を輕銀のみに重きを置いて考ふるときは將來重工業の根幹たる鐵鋼政策上一大困難に逢着するの恐なしとせず、素より輕銀も亦國策の重要資源に相違なきも輕銀の原料に比し十數倍の耐火粘土を必要とする爐材原料に關しても特に適當なる考慮を拂はれんことを望む。

右卑見を縷述し及陳情候也

昭和 13 年 5 月

東京市麹町區丸ノ内二丁目十番地

社團法人日本鐵鋼協會々長 齋藤 大吉

東京市京橋區銀座西四丁目五番地

社団法人日本窯業協會理事長 山田清太郎

誤 正

差 出 先

鐵と鋼第 24 年第 5 號 (前號) 487 頁 3 行目評議員當選者氏名

對滿事務局殖産課、寺内部隊特務部、商工省工務局、  
商工省鑛山局、滿洲國産業部、等

中の「平世將一君」は誤謬なる故「~~澁澤~~正雄君」と訂正す。

新 入 者 氏 名 (自 5 月 6 日 至 6 月 3 日)

| 居 所 又 は 宛 名 先                  | 勤務先又は職業         | 會員別 | 入 會 者     | 紹 介 者                                 |
|--------------------------------|-----------------|-----|-----------|---------------------------------------|
| 朝鮮興南咸南天機里朝室製鐵所                 | 工學士 朝鮮窒素肥料會社製鐵部 | 正會員 | 吉 田 高 明君  | 田村河廣山淺齋風吉田田村吉村末村葛和井村長                 |
| 中野區大和町 157                     | 東京鋼材會社          | 〃   | 橋 本 初 雄君  | 中 松 村 瀨 岡 川 藤 間 川 中 尻 松 川 兼 松 田 上 松 谷 |
| 日本橋區吳服橋 1ノ3 アスカニヤ會社            | アスカニヤ會社         | 〃   | 寒 川 武君    | 清 太 政 勇 大 次 晴 清 秀 太 晴 太 太 四 龜 克 太 熊   |
| 兵庫縣武庫郡精道村打出字針ノ木 22 番 (芦屋 3795) | 日鐵 大阪製鐵所長       | 〃   | 河 部 雅 雄君  | 松 兼 田 上 松 谷                           |
| 世田ヶ谷區赤堤町 1ノ35 (松澤 2786)        | 工學士 内外製鋼所       | 〃   | 井 手 又 藏君  | 淺 輪 三 郎                               |
| 本郷區西片町 10ノ44 (小石川 823)         | 千葉製作所           | 〃   | 千 葉 信 彌君  | 中 島 三 郎                               |
| 城東區北砂町 10ノ15                   | 製 鋼 業           | 〃   | 株式會社内外製鋼所 | 里 井 孝 三 郎                             |
| 目黒區原町 1215                     | 經濟學士 小倉製鋼東京出張所  | 〃   | 吉 田 茂 雄君  | 村 松 橋 太 郎                             |
| 釜石市日本製鐵會社々宅                    | 工學士 日鐵 釜石製鐵所    | 〃   | 佐 伯 正 夫君  | 江 口 喜 一 讓                             |
| 大阪市此花區春日出町 5 大阪製鎖造機會社          | 工學士 大阪製鎖造機會社    | 〃   | 河 村 隼 人君  | 淺 田 讓 郎                               |
| 旅順市松村町晴明學會                     | 旅順工大生           | 准會員 | 孫 廷 烈君    | 村 松 橋 太 郎                             |
| 滿洲國鞍山市昭和製鋼所經理部主計課              | 經濟學士 昭和製鋼所經理部   | 〃   | 奥 村 昌 三君  | 江 口 喜 一 讓                             |
| 大阪市大正區船町 3 中山製鋼所熔鑪爐建設事務所       | 中山製鋼所           | 〃   | 山 本 達 雄君  | 村 松 橋 太 郎                             |
| 大阪市此花區島屋町 住友金屬工業會社製鋼所          | 工學士 住友金屬工業會社製鋼所 | 〃   | 高 椋 正 雄君  | 江 口 喜 一 讓                             |
| 川崎市東門前 3ノ84                    | 日本火工會社川崎工場      | 〃   | 高 塚 貫 一君  | 淺 田 讓 郎                               |
| 橫濱市保土ヶ谷區保土ヶ谷町 198              | 日産自動車會社         | 〃   | 行 本 英 志君  | 村 松 橋 太 郎                             |
| 橫濱市鶴見區東中町 257 宇佐美方             | 鶴見製鐵造船會社製鋼工場    | 〃   | 河 田 正 二君  | 江 口 喜 一 讓                             |
| 滿洲國鞍山市昭和製鋼所銑鐵工場                | 工學士 昭和製鋼所銑鐵工場   | 〃   | 宇 野 亨君    | 淺 田 讓 郎                               |
| 富山市下新 50 日曹會社富山製鋼所             | 日曹會社富山製鋼所       | 〃   | 高 田 元 弘君  | 村 松 橋 太 郎                             |
| 名古屋市南區呼環町字熊野 81                | 工學士 大同電氣製鋼所     | 〃   | 田 中 稔君    | 楠 正 充 一                               |
| 蒲田區本蒲田 5ノ10ノ2                  | 早大生             | 〃   | 三 宅 暢 之君  | 鹽 澤 正 一 郎                             |
| 滿洲國鞍山市昭和製鋼所研究所                 | 理學士 昭和製鋼研究所     | 〃   | 北 原 三 郎君  | 藤 田 守 太 郎                             |
| 世田ヶ谷區奧澤町 1ノ492 諸隈忠夫方           | 新潟鐵工所蒲田工場       | 〃   | 田 邊 友 和君  | 齋 藤 彌 平                               |
| 福岡市外箱崎町今福町 2443 藤村長雄方          | 九大生             | 〃   | 森 部 正 隆君  | 井 上 克 已                               |
| 熊本市 熊本高工 工友寮内                  | 熊本高工生           | 〃   | 大 塚 光 貞君  | 本 多 顯 曜                               |
| 仙臺市土樋 249 鈴木金清方                | 東北大生            | 〃   | 松 島 信 一君  | 的 場 幸 雄                               |
| 西宮市東町 2ノ45                     | 工學士 日本鑄鋼所       | 〃   | 山 口 昇君    | 奥 村 福 次                               |
| 堺市九間町東 2ノ14                    | 大阪府立西野田職工學校教諭   | 〃   | 兒 玉 圓 二君  | 飯 尾 昌 克                               |
| 淀橋區下落合 4ノ1655 (落合長崎 3171)      | 東大生             | 〃   | 阿 倍 浩 二君  | 吉 川 晴 十                               |

死 亡 者

本會正會員太田三吉君 (5 月 27 日) 逝去の訃に接す痛惜に不堪茲に謹んで弔意を表す